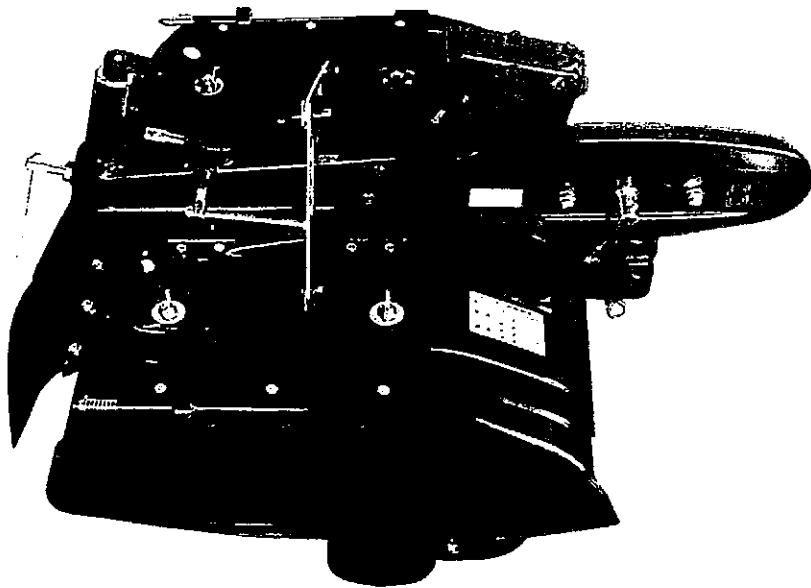


ヘルパーロータリー

取扱説明書

KF85 ロータリー



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存してく
ださい。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいてじゅうぶん理解され、お買いあげの製品がすぐれた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。また、お読みになった後も製品に近接して保存し、わからないことがあったときには取り出してお読みください。なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▲ 安全 第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ▲ の表示があるラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお、▲ 表示ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの購入先に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱上の注意事項について次のように表示しています。

▲ 危険：注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことになるものを表示します。

▲ 警告：注意事項を守らないと死亡または重傷を負う危険性があるものを表示します。

▲ 注意：注意事項を守らないとケガを負うおそれがあるものを表示します。

重要：注意事項を守らないと損傷や故障のおそれがあります。

補足：その他、使用上役立つ補足説明をしています。

本製品の使用目的について

本製品は、農業用機械ですので農作業以外では使用しないでください。
使用目的以外の作業、また夜間作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

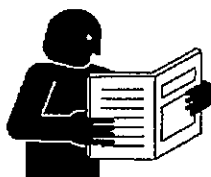
▲安全に作業するために 必ず読んでください

本機をご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも、本文の中で ▲危・▲警・▲注意 重要・補としてそのつど取り上げています。

運転する前に

■運転前に

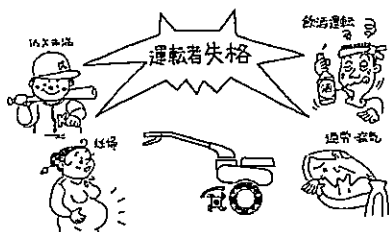
- 機械を動かす前に、取扱説明書と機械に貼ってある ▲表示ラベルをよく読み、理解した上で運転してください。
- 機械の運転操作、特に主クラッチ〔切〕はすばやく出来るよう、よく練習し、十分に慣れてから作業してください。



■使用する人は

次の事項に該当する場合は機械を使用しないでください。

- ☆本書およびラベルの内容が理解できない人
- ☆視力不足等のため表示内容が読めない人
- ☆飲酒時や体調が悪い時または妊娠中の人
- ☆16歳未満の人
- ☆ハンドルを操作する体力に自信のない人



■使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置に引っかかり事故の原因となる、だぶついた服、腰タオル等はやめてください。
- ヘルメット・安全靴・保護メガネや手袋などを必要により着用してください。



■他人に貸すときは

- 事前に運転のしかたを教え、〔取扱説明書〕を必ず読んでもらってください。
- 本書およびラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。



■周囲への注意

- 子供・ペットを近づけないでください。
- 人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは、互いに注意してください。



▲安全に作業するために 必ず読んでください

作業するとき

■回転している爪に注意

- ハンドル部を持ち上げ旋回するとき、足元および周囲に十分注意してください。回転する爪に巻き込まれるおそれがあります。



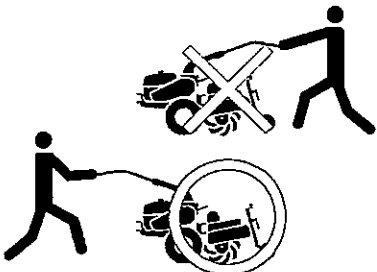
■バック耕耘禁止

- 管理機のハンドル正位置でロータリが作業者の直前にあるような後退作業は行わないでください。転倒したり、傷害物に挟まれたりした場合に死亡事故や重大な傷害を負う危険があります。



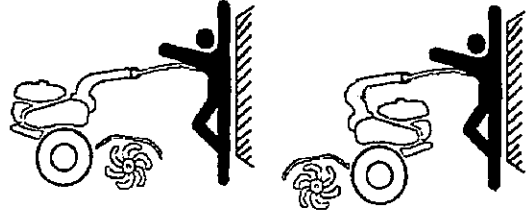
■正しい作業姿勢

- 当製品を管理機に取付け作業するとき、管理機のハンドル正位置でロータリが作業者の直前にあるような姿勢で作業しないでください。作業するときはハンドルを反転させ（管理機の取扱説明書参照）、作業者がロータリから離れた姿勢で行ってください。



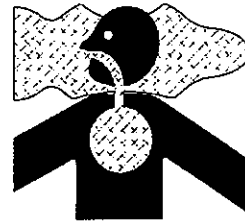
■後方に注意

- バックするときには後方をよく確認し管理機の主クラッチをゆっくりと操作すること。転倒したり、傷害物に挟まれたりした場合に死亡事故や重大な傷害を負う危険があります。



■換気をする

- ハウス内での作業では排気ガスが充満しないように十分に換気を行ってください。排気ガス中毒を起こし、死亡するおそれがあります。



作業が終わったとき

■点検・整備を行う

- 事故・ケガ・機械の破損を未然に防止するため、機械を使う前と後には必ず点検・整備を行ってください。



▲安全に作業するために 必ず読んでください

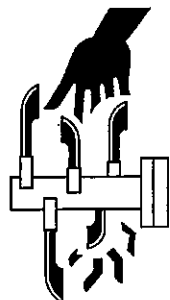
■整備をするとき

- 点検・整備・アタッチメントの脱着などは、機械が転倒しない平坦な所に機械を安定させて、エンジンを止め高温部が冷めてから行ってください。



■掃除をするとき

- 必ずエンジンを停止してください。爪軸に巻付いた草・ワラ・泥土等を取り除くときは、巻込まれるおそれがあります。



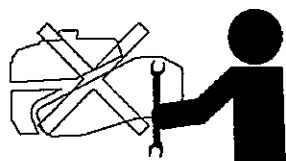
■カバー類は必ずつける

- 点検・整備などで取外したカバー類は必ずもとどおりに取付けてください。



■機械の改造禁止

- 機械を改造しないでください。改造すると機械に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。



■廃棄物の処理について

- 廃棄物をみだりに捨てたり、焼却しないでください。環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を除く場合は容器に受けてください。地面へのたれ流しや河川・湖沼・海洋への投棄はしないでください。
- 廃油・ゴム類、その他の有害物を廃棄、または焼却するときは、購入先、または産業廃棄物処理業者に相談して、所定の規則に従って処理してください。



■作業機の着脱について

- 作業機の着脱は、平坦で安全な場所で行ってください。
- P T O 作業機の着脱・取外し・調整・掃除または修理をするときは、作業機が完全に止まるまで待ってください。



1. 点検整備

1 給油

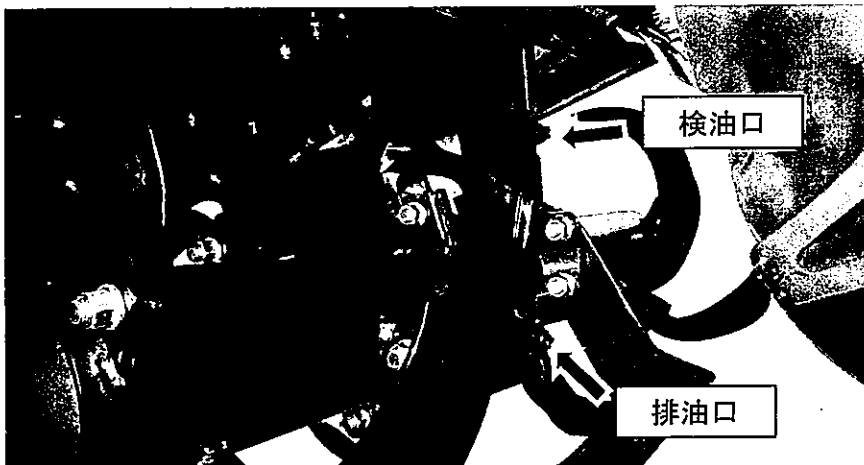
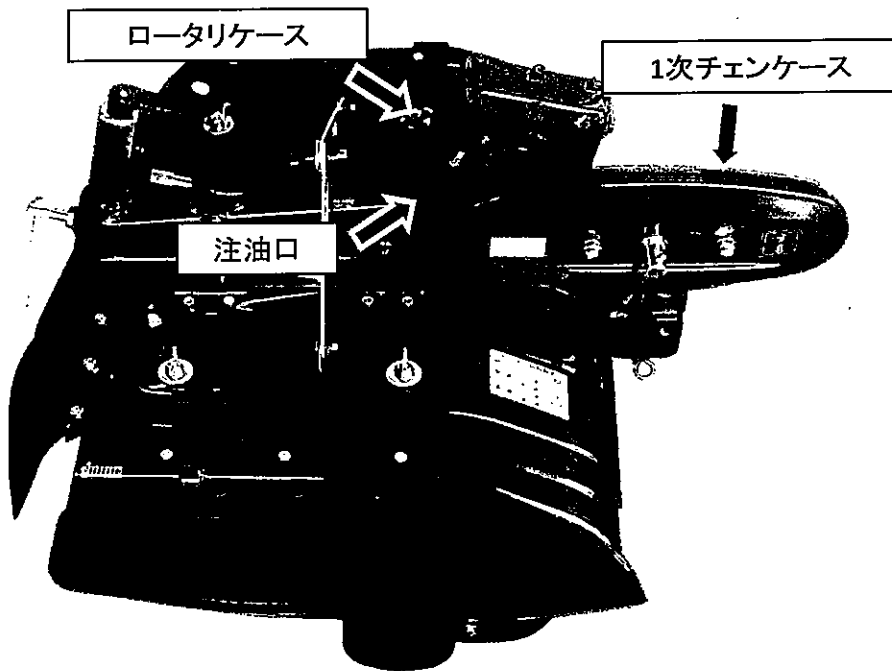
(1) 1次チェーンケース

組立時にチェーンにはグリスを塗布しておりますがご使用前に内部を点検しグリスを適量補充してください。(約200cc)

(2) ロータリーケース

出荷時にはオイルを抜いて出荷しています。ご使用前には必ずロータリーケースの注油口から、検油口からあふれるまで注油してください。

使用するオイル:ギヤオイル 90#



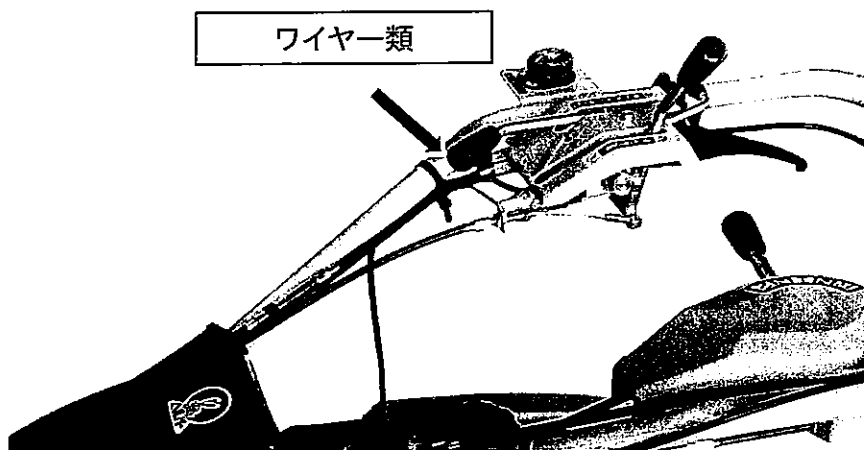
1. 点検整備

(3) ワイヤー類

ワイヤー類にもオイルを注油してください。

(4) その他

つめ軸や尾輪などにも適時オイルを塗布してください。油が切れた状態でサビが発生すると固着し操作に支障をきたす恐れがあります。



2 グリス・オイル交換

(1) 1次チェンケース

1次チェンケースは100時間使用ごとに、又は1シーズンごとに内部を点検し良質のグリスを補充してください。

(2) ロータリーケース

ロータリーケースは1回目は50時間使用後に、それ以降は100時間又は1シーズンごとに新しいオイルと交換します。

排出

ロータリーを回転させ、オイルを温めます。その後、安定した場所に機械を停止させます。絶対に不安定な場所や傾斜地で作業を行わないで下さい。怪我や重大な事故につながる恐れがあります。



エンジンを停止させ、排油口のボルトを緩めます。オイルがこぼれないようオイルパンなどでオイルを受けてください。

この時、注油口を開けると排油がスムーズになります。

排出したオイルはみだりに投棄せず、法令に従って処理してください。法により処罰させる恐れがあります。処理に関してはお買い上げいただいた販売店、または専門の産業廃棄物処理業者にお問合せください。

給油

給油は1-1給油の手順に従い行ってください。

1. 点検整備

3 点検・清掃

(1) 使用前の点検

各部にゆるみやガタがないか確認します。緩んだ箇所はボルトを増し締めしてください。

(2) グリスやオイルの点検

各部のオイルやグリスの量を確認します。不足している場合には追加してください。

(2) 使用後の清掃

使用後はきれいに清掃してください。水分をよくふき取り、脱落した部品や損傷がないか確認します。

脱落した部品や破損があった場合には使用を中止し、お買い上げいただいた販売店に部品の注文や修理の依頼を行なってください。

2. ロータリの取り付けかた

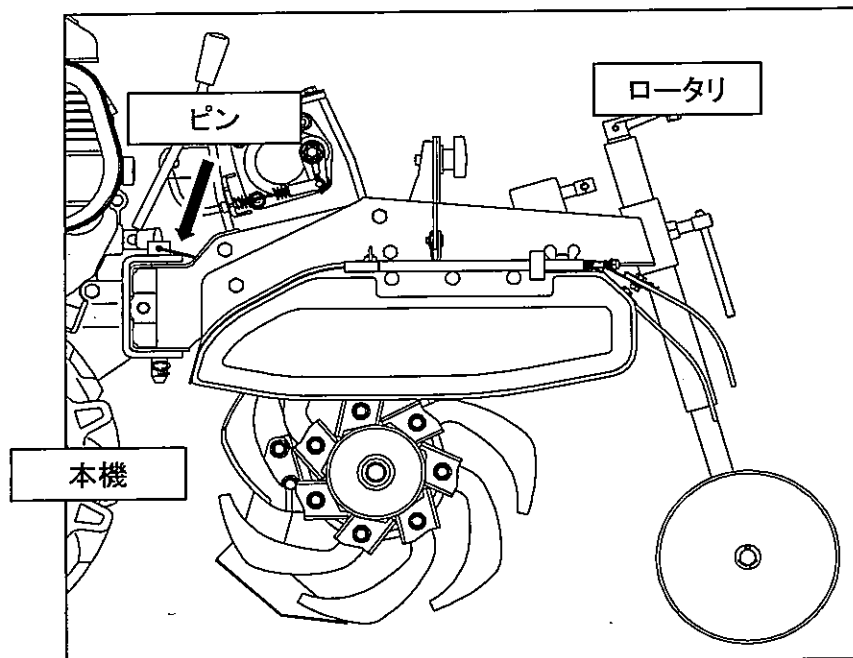
1 ピンで固定する

(1) ヒッチを差し込む

本機のヒッチにロータリのヒッチを差し込みます。この時、協力者にハンドルを持ち上げてもらえると作業が容易になります。

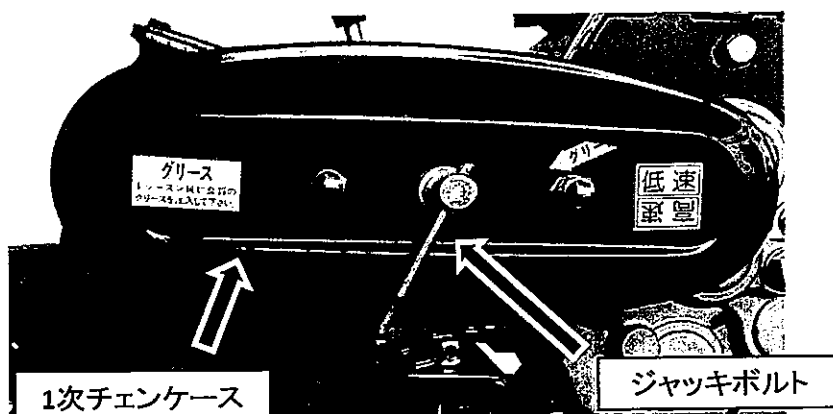
(2) ピンを入れる

本機のヒッチにロータリのヒッチを差し込んだら、穴を合わせピンを差し込みます。



2 1次チェーンケースを取付ける

(1) 写真のように1次チェーンケースを本機とロータリのPTO軸に差し込みます。根元までしっかりと差し込めたらジャッキボルトで固定してください。



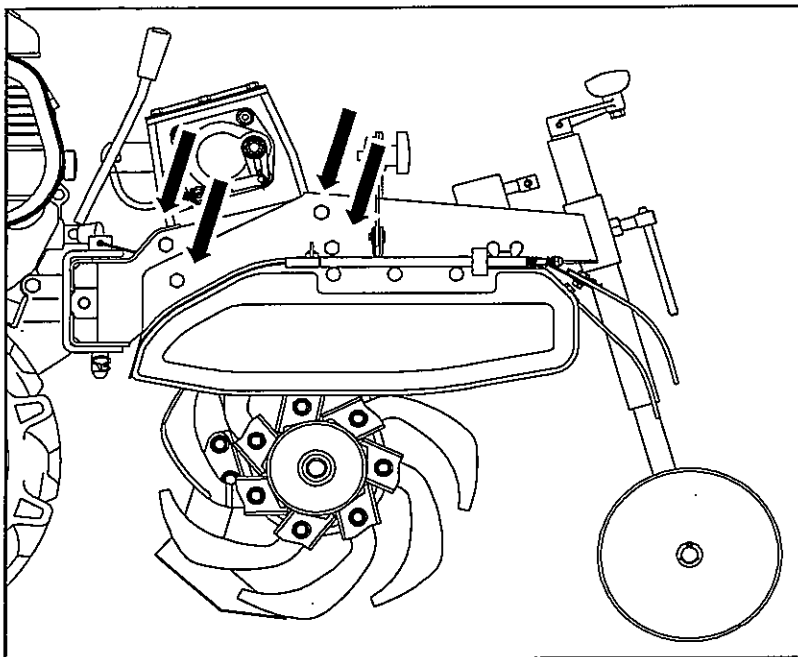
2. ロータリの取り付けかた

※ 組み付けが上手くいかないとき

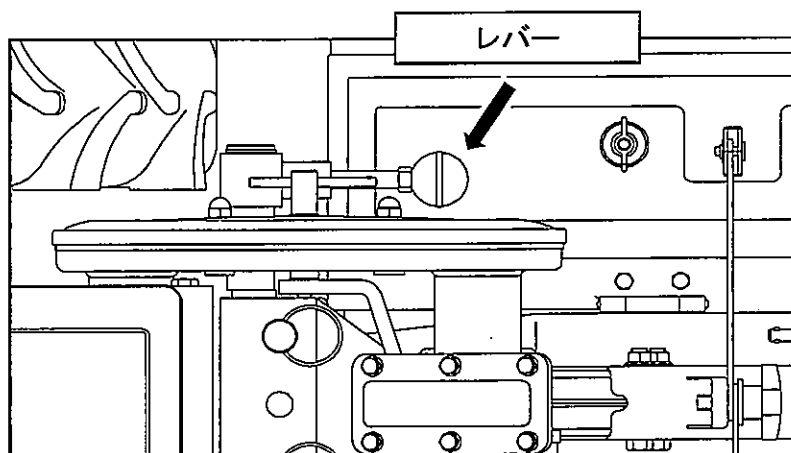
ロータリクラッチを「入」にして爪を手で回しながら取付けてください。PTO軸が回転しスプラインが合います。

上記の方法で上手くいかなかった場合、ロータリを固定しているボルトを緩め軸間を調節します。

1次チェンケースが取付けられたら、緩めたボルトは確実に固定してください。思わぬ怪我や破損の恐れがあります。

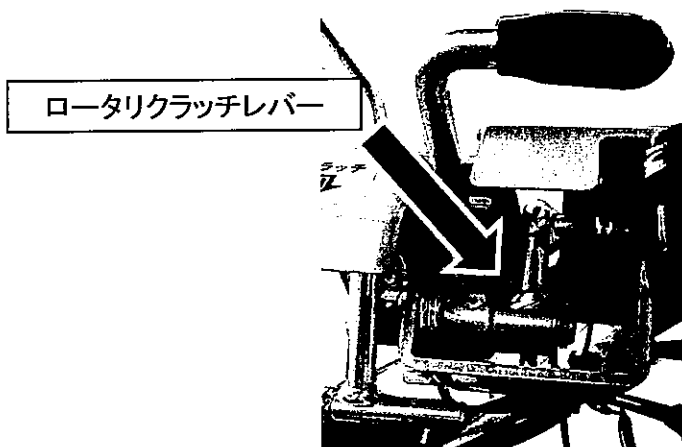
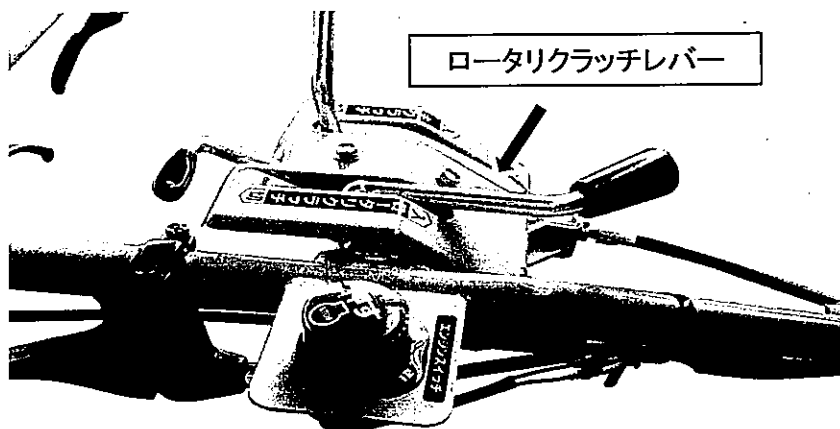


(2) 1次チェンケースが取付けられたら、レバーを回転させヒッチに差し込んだピンを固定します。レバーは丸い握りを引張ると空転するので90度づつ締め込んでください。



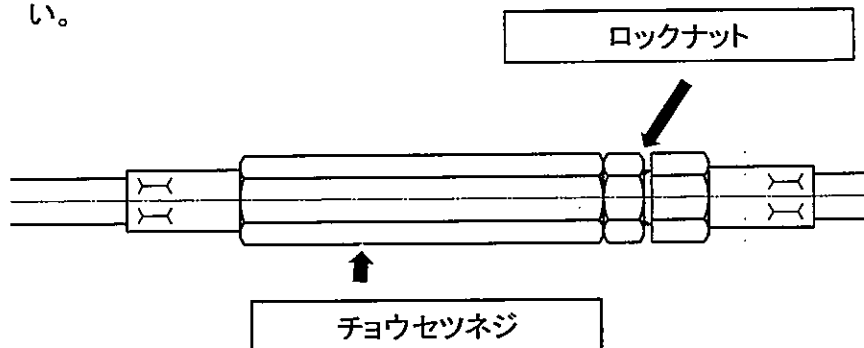
2. ロータリの取り付けかた

- 3 ロータリクラッチワイヤーの組み付け
クラッチレバーにロータリクラッチワイヤを取付けます。



※ クラッチが切れない場合は、チョウセツネジのロックナットを緩め長く調節してください。また、クラッチが入らない場合は短くしてください。

調節が終わったらロックナットで回らないように固定してください。



補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等でご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするよう研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷されていますので、安心してお使いいただけます。市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

品番 042271180505000

・製品のご相談は下記の販売店へ



関東農機株式会社

本社工場/本社営業所	〒323-0819 栃木県小山市横倉新田 493 TEL 0285(27)3271(代) FAX 0285(27)4627
鏡石工場/福島営業所	〒969-0403 福島県岩瀬郡鏡石町久来石字大町 57 TEL 0248(62)4131(代) FAX 0248(62)4133
盛岡工場/東北営業所	〒028-4132 岩手県盛岡市湊民字岩鼻 20-55 TEL 019(683)1911(代) FAX 019(683)1119
九州営業所	〒866-0813 熊本県八代市上片町 1351-4 TEL 0965(31)0730(代) FAX 0965(31)0760